

# 令和5年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

日時：令和5年11月20日（月）

14:00～16:00

場所：国営海の中道海浜公園事務所

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 議題

#### 1) 前回協議会での議題、意見等に関する取組状況等

- ①上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告・・・・・・・・・・資料1
- ②公園PR・情報発信や多様な主体の連携に関する取組について・資料2
- ③更なる魅力向上に向けて今後の議論テーマ（案）について・・・資料3

#### 2) 各主体における今年度の取組状況・・・・・・・・・・資料4(※) (参考資料1～6)

※委員限り

### 3. 閉会

以上

#### ○配付資料

配席図、規約、参加者名簿、委員名簿、本協議会の進め方

資料1 上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告

資料2 公園PR・情報発信や多様な主体の連携に関する現況

資料3 本公園の更なる魅力向上に向けて今後議論していきたいテーマ（案）

資料4 各主体における今年度の取組状況

参考資料1 取組参考資料（海の中道管理センター）

参考資料2 取組参考資料（マリンワールド海の中道）

参考資料3 取組参考資料（ザ・ルイガンズ）

参考資料4 取組参考資料（青少年海の家）

参考資料5 取組参考資料（海の中道パーク・ツーリズム共同事業体）

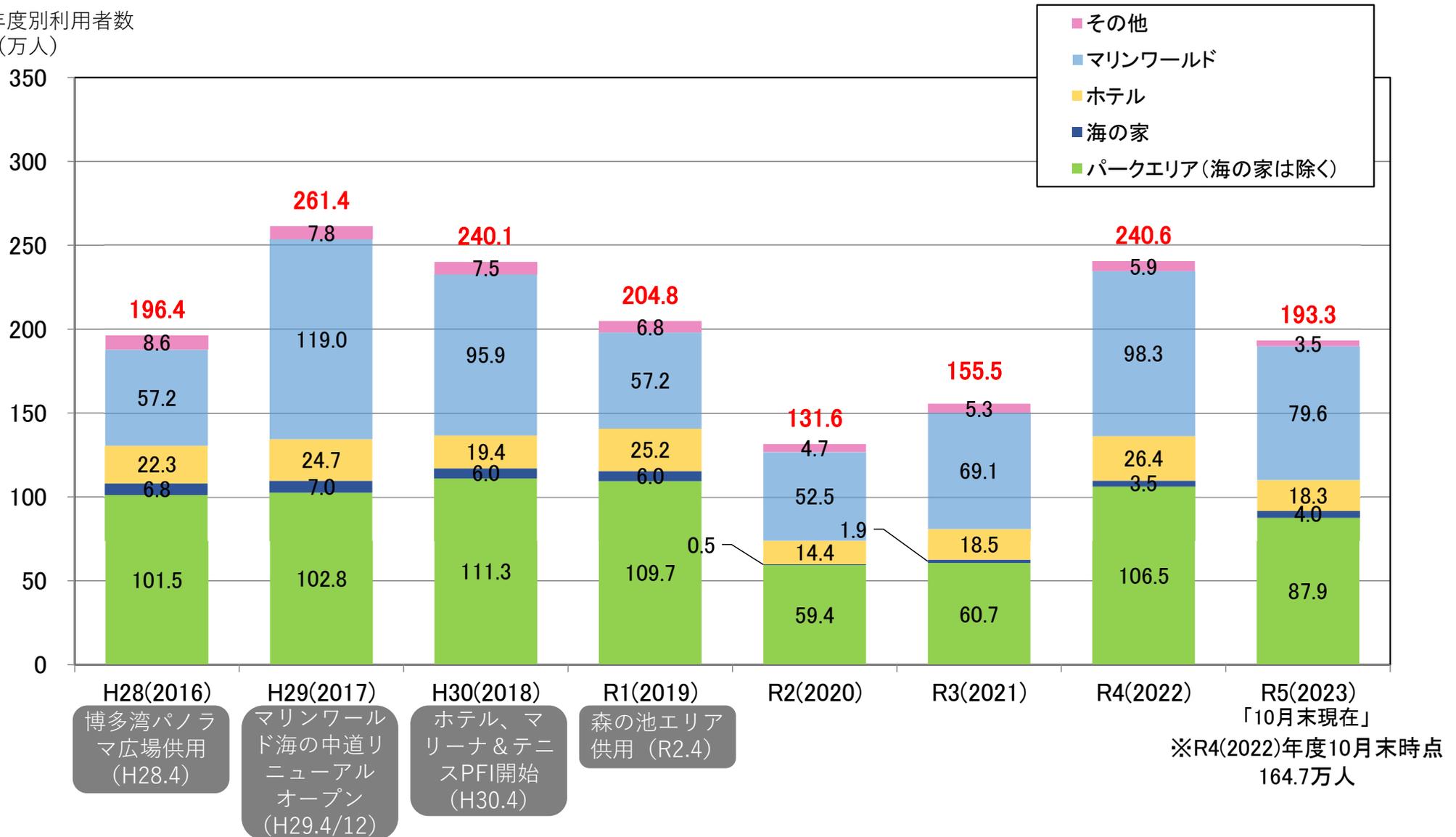
参考資料6 取組参考資料（国営海の中道海浜公園事務所）

# 上半期の海の中道海浜公園の 利用者数の報告

# 直近8年間（H28～R5年度）の利用者数の推移

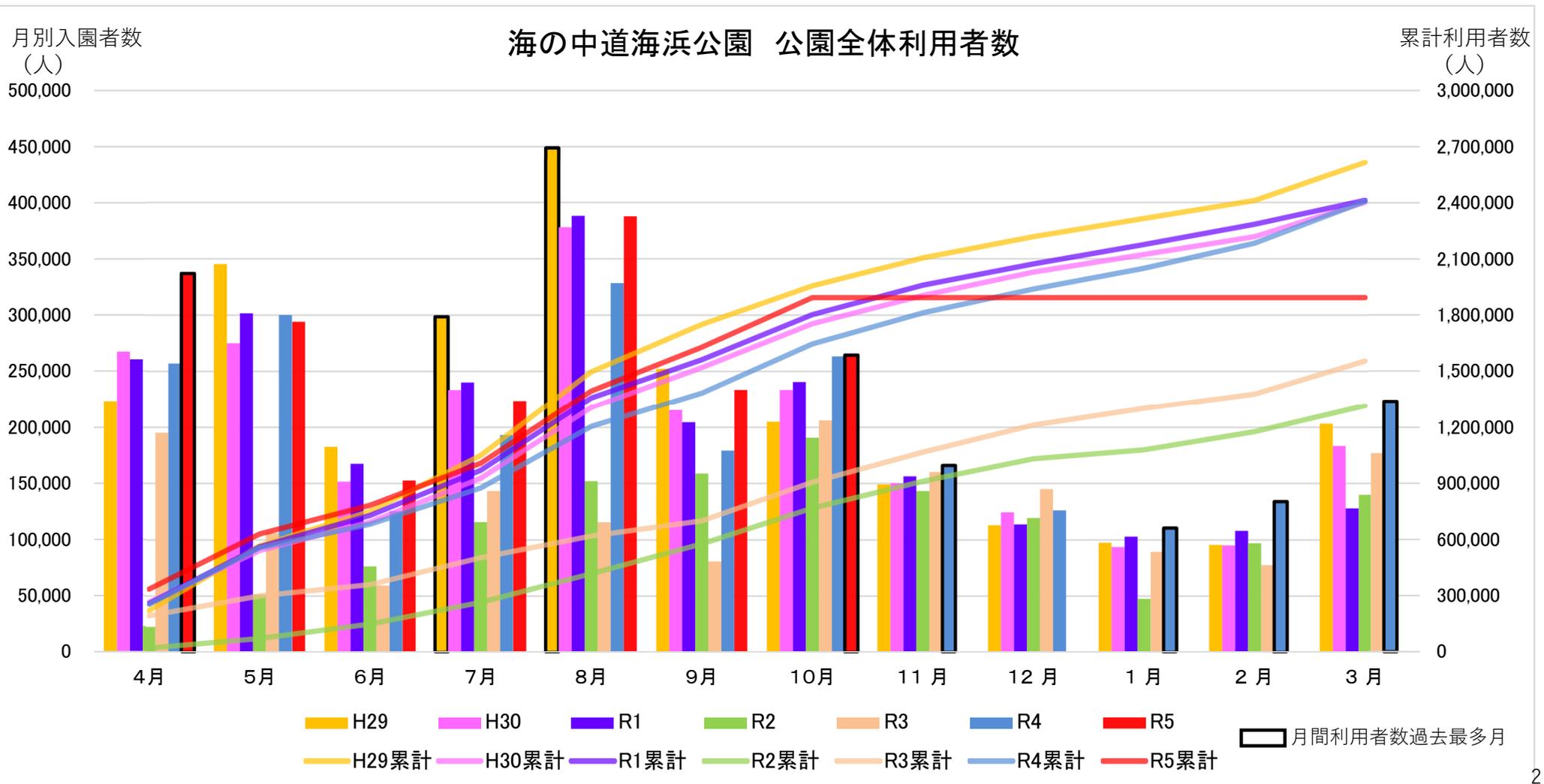
- 平成28年度から令和1年度までは、200～250万人前後で推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉園等により令和2年度は132万人（前年の約55%）、令和3年度は約156万人と大幅に減少。
- 令和4年度以降はコロナ前の水準まで回復し、令和4年度は約240万人、令和5年度は10月末時点で約193万人を記録。

年度別利用者数  
(万人)



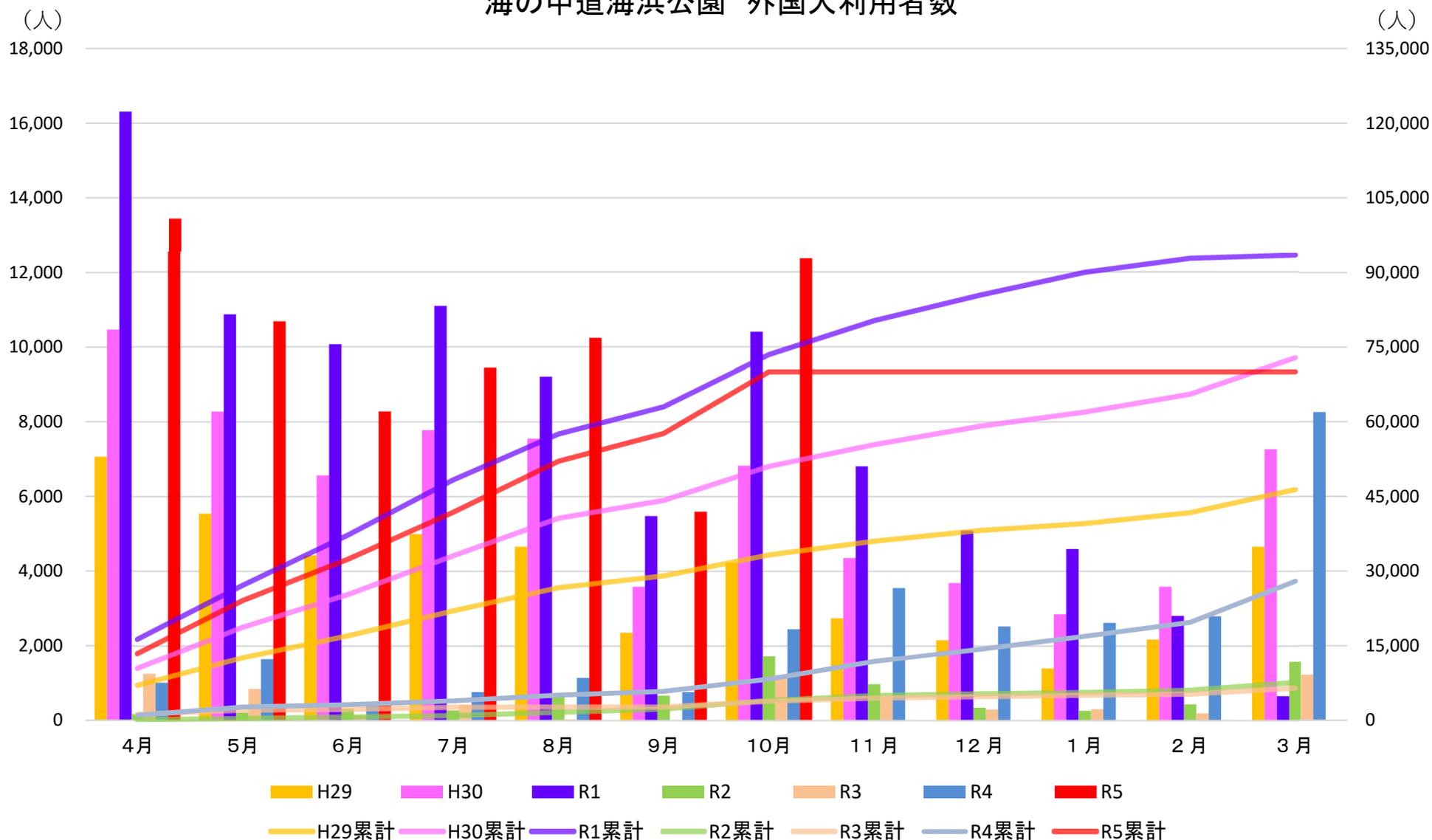
# 平成29年度～令和5年10月末までの月別利用者数

◎平成29年度は、7、9月の公園全体の月間利用者数が過去最多を記録し、年間利用者数は歴代2位を記録。※歴代1位は平成7年度  
 ○令和2、3年度はコロナの影響で減少した。  
 ◎令和4年度は、利用者数がコロナ禍前の水準まで回復し、10月頃からは外国人利用者が増加。  
 ◎令和4年度は、10、11、1、2、3月の公園全体の月間利用者数が過去最多を記録。※令和4年度末時点  
 ◎令和5年度は、4、10月の公園全体の月間利用者数が過去最多を記録。※10月末時点



○新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和元年度末から令和4年度9月頃まで外国人入園者が大幅に減少。  
 ○令和4年度10月の入国制限の緩和に伴い、外国人入園者数が回復傾向にある。

## 海の中道海浜公園 外国人利用者数



# 公園PR・情報発信や多様な主体の連携 に関する現況の取組

本公園の魅力向上や利用の利便向上に向け、現在、園内関係機関で創意工夫し、取り組んでいる内容を取りまとめました。

- ①公園PR及び情報発信の創意工夫としての取組状況
- ②多様な主体が連携した取組状況

## 【現在、実施中の創意工夫した公園PR又は情報発信に関する取組内容】

実施団体	実施内容	概要
海の中道管理センター (園内関係機関が連携)	うみなかたびポータルサイトの設置※	公園関係機関、志賀島、西戸崎島の地域関係者が一体となって海中エリアの情報発信を行うポータルサイトを設置【 <a href="#">図1参照</a> 】
海中管理センター	プレスリリース	マスコミ各機関に年40件程度のプレスリリースを発信
	マスコミ取材対応	既設の話題、ロケ撮影等のマスコミ取材対応を年240件程度実施
	オウンドメディアの活用	公園ホームページ、公園公式SNS(年500件程度)にて情報の発信
	SNSフォトコンテスト	春と秋にInstagram、Xにて実施
	うみなかぐらまーの活用	インスタグラマーにイベント案内を発信し、撮影と投稿を依頼【 <a href="#">図2参照</a> 】 R3開始で、今年度で3期目:各期30名が活動。2023.9月現在:3,505件投稿)
	韓国NAVERブロガーの招聘	韓国NAVERブロガーを招聘し「うみなかたび」の発信を依頼 (参考:NAVER:韓国で定着している検索エンジンプラットフォーム)
	中国Weiboブロガーの招聘	中国Weiboブロガーを招聘し「うみなかたび」の発信を依頼 (参考:Weibo:全世界7億人以上にユーザーを抱える中国圏最大のソーシャル・メディア)
	主要拠点での屋外広告	博多駅デジタルサイネージ、香椎駅等での屋外広告の実施
マリンワールド	かいじゅうアイランドのリニューアル発表	かいじゅうアイランドの新エリア開設に関する発表
	スタッフブログによる情報発信	生き物の状況に関する記事をスタッフブログに掲載(来園者からの問合せ有)
	Instagramによるフォトコンテスト	ハロウィンに合わせたフォトコンテストを実施【 <a href="#">図3参照</a> 】
青少年海の家	SNS(FB・Instagram)を活用した広報促進、 動画の活用・フォロワー数の増加※	各SNSにて海の家での活動情報、各種イベントの実施状況の報告を掲載。
	ニュースリリースの積極発信※	海の家各種お知らせや情報をニュースリリースとして積極的に配信
	出張自然教室・出前ブース出展	公民館や子ども食堂、ショッピングセンターでの自然やクラフト制作体験提供
海の中道パーク・ツーリズム ム共同体	地域と連携したマルシェ等イベントの開催 ※	定例的な地域イベントの開催を行うことにより、海中地域の魅力発信を行う。
	SNSによる他機関取組の情報発信	公園内関係機関のイベント情報等も団体のSNSにて周知を行う【 <a href="#">図4参照</a> 】

※フォローアップ様式にも掲載

- うみなかたびポータルサイトにて、園内関係機関及びに地域において実施されるイベントに関する情報を記載しており、各イベントのページより、**イベントを実施する団体のホームページにアクセス**が可能。
- 園内関係機関の情報を集約することで、海中周辺の情報検索利用者に対する**情報提供の一元化**を図ることができる。また、目的以外の情報も自然に目に留まり、**目的以外の場所やイベントへのアクセス**が期待できる。
- 今後は、公園公式HPでも、“**周辺の鳥瞰図**”を掲載し、関係機関の立地状況とリンクにつなげる情報を検討中

- Instagramにて**フォロワーの多いアカウント(インスタグラマー)**に対し、園内イベントを周知し、撮影した写真を投稿して頂く。その際に「**#うみなかぐらまー**」のタグを付け、投稿をしてもらうことで、フォロワーに対し、**公園の魅力発信を行うことができ、タグより他の投稿の情報まで確認**することができる。
- 近年は**SNSから観光地等の情報を入手する人も多い中**、多様な利用者へ本公園の魅力発信を図ることができる。



【図1 うみなかたびポータルサイトトップページ】



【図2 Instagramにおける検索結果抜粋】

- PR活動の一環としてInstagramでのフォトコンテストを実施。「#マリンでハロウィン」のタグをつけてもらい、マリンワールドの公式Instagramをフォローしているアカウントの中から、入賞者にオリジナルグッズを贈呈。
- 季節に応じた取り組みを実施することで、リピーターの獲得や、イベント時の来園者の増加に寄与することができる。

- 「INN THE PARK」の公式アカウントで、管理センター主催の園内イベントなどの情報を発信。情報発信の際に、各団体のアカウント、公園の位置情報などをタグ付け。
- 園内他機関の取り組みを紹介することで、「INN THE PARK」の利用者等に対し、周辺イベントを紹介することができ園内全体の魅力発信に寄与することができる。また、各団体のアカウントのタグ付けにより、各アカウントへの誘導も行える。

### 【仮装フォトコンテスト 参加方法】

- ① インスタでマリンワールド海の中道 @marineworld.uminaka をフォロー
  - ② 10月28日(土)にマリンワールドで仮装した写真を撮影！
  - ③ #マリンでハロウィンのハッシュタグをつけて、写真をインスタに投稿！
- 当日は「フォトプロップス」の撮影スポットもあるよ♪  
仮装して海の生き物たちと一緒にハロウィンを楽しみましょう★  
入賞者10名様にオリジナルグッズをプレゼントいたします。



【図3 マリンワールドのフォトコンテスト】



【図4 関係機関のイベント広報状況】

## 【現在、実施中の多様な主体が連携した取組内容】

実施内容	概要	実施団体								
		センター	ホテル	マリン	マリ ーナ	海の 家	PPFI	国	地域	関連 団体
うみなかたびポータルサイトの設置※	うみなかたびポータルサイトにて公園内関係機関、地域の情報を発信	●	○	○	○	○	○	○	○	○
九州UMIアカデミーの開催※	様々なイベントを通じて「海」について学ぶ九州UMIアカデミーを園内関係機関と連携して実施【 <a href="#">図1参照</a> 】	○	○	○	●	○	○		○	○
マリンスポーツの充実※	福岡市内のダイビングショップとの連携も図りマリンスポーツのメニューの充実を図る	○	○		●	○				○
割引サービス※	各機関のイベント等との連携を図りながら相互の施設利用に対して割引サービスを実施する	○	○	●	○	○				○
SDGsワークショップの開催※	地域や関連団体、管理センターと連携をしながらSDGsについて取り組むワークショップを開催	○				●			○	○
公園内関係機関と連携した宿泊プラン※	宿泊+アクティビティなどの関係機関と連携した宿泊プランの作成を行う【 <a href="#">図2参照</a> 】	○	○	○	○	○	●		○	○
ワーケーション取組の推進※	福岡市のワーケーション施策と連携した取り組みから公園全体でワーケーションの推進を図る	○	○	○	○	○	○	●	○	○
企業研修メニューの精査※	ワーケーションにおいて用いる研修メニューについて、園内関係者と精査・試行を行う	○	○	○	○	○	○	●		
ドゲンジャーズ体育祭の開催	ドゲンジャーズ主催の体育祭を海の中道海浜公園で実施し、マリンワールドから出張展示も行う【 <a href="#">図3参照</a> 】	●		○						
オープントップバスツアー	海の中道海浜公園や志賀島などの海中エリアを周遊するルートトップバスツアーを開催【 <a href="#">図4参照</a> 】	●	○	○					○	○
アマモサミットのサテライト拠点	全国アマモサミットのサテライト拠点として、マリンワールドにて特別展示を実施				●	○				○
海の冒険団の開催	バックヤードツアーや水槽づくりを行う「それいけ！海の冒険団」を青少年海の家にて実施			○		●				
福岡市内イオンでのイベント出展	流木アートなどのワークショップを行うイベントを地域のショッピングモールにて実施					●				○
福岡県内イオンでのイベント出展	生物の標本展示や解説、夏の特別展「奄美大島展」のPRを兼ねた水槽展示などのイベントを実施。(3ヶ所×2日間)			●						○
ビーチクリーンアップ活動の実施	ラブアース・クリーンアップ福岡地区実行委員会とともにビーチクリーンアップ活動を実施【 <a href="#">図5参照</a> 】					○				●

※フォローアップ様式にも掲載

●:主団体 ○:連携団体

- UMIアカデミーでは、シーカヤックや釣り体験といった海に触れる体験型イベントを実施。イベントに実施に際して、公園内の各機関と連携を図りながらイベント運営を行う。
- マリーナ、海の家、マリンワールド等が連携しながらUMIアカデミーを行うことで、マリンスポーツ、生き物や環境学習に関連した取り組みなど、本公園の特長といえる海の魅力を発揮したイベントとして取り組んでいる。



【図1 UMIアカデミーの実施状況】

- 「INN THE PARK」の宿泊プランにて、公園内の施設を活かした宿泊プランを設定。
- 例えば、公園内にドッグランがあることを活かし、ペット同伴用の宿泊プランを設けることで、ペット同伴での顧客の獲得に寄与している。

【朝夕2食付】ドッグフレンドリープラン／お気軽ハーフコースディナー

このプランには以下のものが含まれます

- WiFi: なし
- クレジットカードで事前決済、現地決済（事前のクレジットカード登録が必要です）
- 食事: 朝食、夕食
- キャンセルポリシー

プラン内容

愛犬と一緒に宿泊いただけるプランです。海の中道海浜公園光と風の広場口ドッグランをご利用下さい。下記URLよりご利用に関する注意事項をご確認ください。

[https://luminaka-park.jp/news/info/post\\_26.html](https://luminaka-park.jp/news/info/post_26.html)

【ドギー-SUPクルージング】  
宿泊とあわせて楽しめる「ドギー-SUPクルージング」。光と風の広場から海に出て、愛犬と一緒にSUP体験。

続きを読む

施設からのお知らせ

---

オススメ★

- 球体ドッグフレンドリールーム

28 m<sup>2</sup> | セミダブル: 2台

部屋の詳細を表示

合計金額 大人 × 2名 1泊の料金

通常価格

¥53,900~ 1泊の料金 (税込)

【図2 ドッグラン利用とセットの宿泊プラン】

- 本公園内の子供の広場で、外部団体と連携した「ドゲンジャーズ秋の体育祭」を実施。ブースの一部として、マリワールドからも出展し、通常展示はしていないアイテムを本イベントで展示している。
- 外部団体のイベントを公園内で実施することで、イベントの趣旨に合わせた属性の来訪者を獲得することができる。

例1)ドゲンジャーズ秋の体育祭:

子連れファミリー層のさらなる獲得

例2)Paradise Disco2023:

音楽に興味のある様々な世代の獲得

- 海の中道海浜公園から志賀島をめぐるオープントップバスツアーを実施。公園だけでなく、公園周辺の地域の魅力も発信することができる。実施にあたっては西日本鉄道と連携して運営を行っている。
- 公園内で完結するイベントではなく、周辺地域も取り入れた取り組みを行うことにより公園施設の魅力発信に加え、地域全体の活性化にも繋げることが期待できる。



MARINE WORLD uminonakamichi

**マリワールド海の中道**

マリワールド海の中道からアザラシ、ラッコの剥製やサメのあごの標本など、水族館で普段みられないアイテムを展示しています。ぜひ本物を見て、触ってみてください。

マリワールドではアザラシやイルカにエサやり体験、貸し切りバックヤードツアーなど体験イベントも充実しています。

予告 \秋のうみなかを巡ろう!/ オープントップバスの旅

海の中道海浜公園から志賀島をぐるっと巡る「うみなか&志賀島まるっと満喫ツアー」を10/21(土)・22(日)に開催します! 開放感あふれる2階建てオープントップバスに乗って、公園から志賀島を周遊する“うみなかたび”に出発しよう!

詳細は公園ホームページでお知らせします!

うみなかをもっと楽しみたい! うみなかたび公式サイト <https://uminakatabi.jp>

【図4 ルーフトップバスツアーの開催】

【図3 公園内イベントへのマリワールドの参加】

- ラブアース・クリーンアップ福岡地区実行員会主催のラブアース・クリーンアップ2023を海の中道青少年海の家北側海岸で実施。
- 漂着している海洋ごみを参加者で拾い、北側海岸のビーチクリーンアップを図る。
- 参加者として地域住民だけでなく、**学生や地場企業も参加**し活動を実施。



【図5 ラブアース・クリーンアップの実施状況】

# 本公園の更なる魅力向上に向けて 今後議論していきたいテーマ(案)

本公園の更なる魅力向上や利用の利便向上に向け、今後、議論して取り組んでいくテーマ(案)について、とりまとめました。

うみなかビジョン2030の実現を目指し、本公園の更なる魅力向上ならびに利用利便の向上を図るため、今後、下記をテーマに公園関係機関で協議していく予定。

## 【1. うみなかビジョン2030に関連し、議論を深めていきたいテーマ(案)】

テーマ(案)	内容
<b>①公園やエリアの魅力の一体的な情報発信</b> (関連:ビジョンP.8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>記者、マスコミとの連携の方策や公園関係機関での共有方法</li> <li>公園全体で発信すべき情報や、各公園関係機関の主要イベント等について、園内各機関の公式サイト等での発信方法</li> </ul>
<b>②多様な主体が連携した取組の強化</b> (関連:ビジョンP.8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公園関係機関が持つ強みや課題の洗い出しとマッチング</li> <li>各公園関係機関で得た来園者ニーズの情報交換、共有</li> </ul>
<b>③復活しつつあるインバウンドの獲得</b> (関連:ビジョンP.9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人来園者の満足度向上や来園者増に向けた取組</li> </ul>
<b>④教育、学習の場としての公園の活用</b> (関連:ビジョンP.11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施の取組の確認や対応</li> <li>利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど</li> </ul>
<b>⑤健康増進に寄与する機能の充実</b> (関連:ビジョンP.12～13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施の取組の確認や対応</li> <li>利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど</li> </ul>
<b>⑥市民参加の場の創出</b> (関連:ビジョンP.14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施の取組の確認や対応</li> <li>利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど</li> </ul>
<b>⑦企業研修・ワーケーションの拡大促進</b> (関連:ビジョンP.14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人向けの体験メニュー、学びのメニューの充実など</li> </ul>

## ①公園やエリアの魅力の**一体的な情報発信**

- 記者、マスコミとの連携の仕方や公園関係機関での共有方法
- 公園全体で発信すべき情報や、各公園関係機関の主要イベント等について、園内各機関の公式サイト等での発信方法

## ②**多様な主体が連携**した取組の強化

- 各公園関係機関が持つ強みや課題の洗い出しとマッチング
- 各公園関係機関で得た来園者ニーズの情報交換、共有

### ○多様な主体との連携、一体的な発信

多様な施設を有する本公園の魅力をより高めるためには、各施設の管理者や運営に係るボランティア、市民団体等がより一層連携を強化し、相乗効果により公園のポテンシャルを最大限に発揮することが必要です。

また、公園だけでなく、公園の外の地域、資源、福岡市内、福岡県内の関係行政機関や観光事業者等との連携を深めることで、“海の中道”として公園と地域が今後も魅力を増し、Win-Win で発展し続けられるよう、以下の取組を進めます。

項目	今後の具体的取組
公園の中の 連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本公園の将来像の実現に向けて「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」で各主体の連携を強化し、継続的なフォローアップを行う。</li> <li>○園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報などを連携させる取組をより一層推進する。</li> </ul>
公園の外との 連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園、志賀島や西戸崎等の地域関係者がオールうみなかで地域の魅力を発信する「(仮称)うみなかたび推進会議」を設置し、ポータルサイトなどにより各エリアと公園の外との地域とが一体となった情報発信を行う。</li> </ul>

## ③復活しつつあるインバウンドの獲得

・ 外国人来園者の満足度向上や来園者増に向けた取組

### ○海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供

博多湾と玄界灘という 2 つの海を有する国営公園として、その立地を活かした多様なレクリエーションを、多様な層に提供していきます。

項目	今後の具体的取組
多様なニーズへの対応	<p>○既にファミリー層の利用者が多いC地区はその魅力をより強化、Park-PFI 事業が開始される B 地区は大人向けエリアとして整備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴等に応じた各エリアの差別化を一層推進し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供する。</p> <p>○日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアルする。</p>
海の魅力の発揮	<p>○穏やかな海に面した砂浜が広がる B 地区未開園区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。</p> <p>○博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する (SUP、カヤック、ホースライディング等)。</p>
食の魅力の充実	<p>○地産地消、食育等のテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。</p>



大人が楽しめる場の整備 (B 地区)



海辺のアクティビティの導入



マルシェの開催  
(写真提供：吉野ヶ里歴史公園)

## ④教育、学習の場としての公園の活用

- 未実施の取組の確認や対応
- 利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど

### ○教育施設、環境学習フィールドとして活用

園内外の多様な人材、自然資源をうまく活用・連携させながら、公園全体を教育、環境学習のフィールドとして活用します。

項目	今後の具体的取組
人材育成	○環境教育の指導者を養成する講習会の開催など、人材育成の取組を推進する。
環境学習	○森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、関係主体等との連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。



ボランティア講習会の実施



生き物観察



希少種の保全活動

(本公園でのニッポンバラタナゴ保全活動)

## ⑤健康増進に寄与する機能の充実

- 未実施の取組の確認や対応
- 利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど

### ○スポーツ・レクリエーションの場としての機能充実

国営公園予定地である雁の巣レクリエーションセンターとの連携・役割分担により、スポーツ・レクリエーション機能の充実を図ります。

項目	今後の具体的取組
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既に市民の多様なスポーツの場として親しまれている雁の巣レクリエーションセンターの区域を、福岡市が管理する現行の形を基本として国営公園として開園するとともに、公園内の他のエリアとの連携を強化する。</li> <li>○園内の園路の改修等により、サイクリング専用コースやジョギングコースなどの運動ができるコースの設定を行う。</li> </ul>



(初心者向けのテニス教室)



(本格的な競技利用)



(サイクリング)

【テーマ(案)⑤に関連するうみなかビジョン2030の抜粋(P.12)】

## ⑤健康増進に寄与する機能の充実

- 未実施の取組の確認や対応
- 利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど

### ○健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実

今後も進行する高齢社会の中での健康の維持・増進の場として、心の癒しとなる場としての機能をより充実させていきます。

項目	今後の具体的取組
健康増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。</li> <li>○テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を活かした健康プログラムを充実させる。</li> <li>○志賀島-海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。</li> </ul>
癒やし	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。</li> <li>○花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。</li> </ul>



海の中道の自然を活かした健康プログラム



高齢者スポーツ



花を觀賞しながら食事  
(出典：淡路ハイウェイオアシス HP)

## ⑥市民参加の場の創出

- 未実施の取組の確認や対応
- 利用者ニーズの把握、新たなアイデアなど

## ⑦企業研修・ワーケーションの拡大促進

- 大人向けの体験メニュー、学びのメニューの充実など

### ○市民参加の場の充実

市民が主体的に企画するプログラムや個人の知識、特技等を活かしたプログラムなど、よりやりがいのある市民参加メニューを充実させます。

項目	今後の具体的取組
市民参加	○市民発案のプログラム、地域の方がインストラクター・講師等となったプログラムなど、市民が主体的に提供するプログラムを充実する。

### ○学びの場の充実

子供だけでなく、大人も含めて充実した質の高い学びができるプログラムを充実していきます。

項目	今後の具体的取組
学びの充実	○様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ○食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。



昔遊び指導ボランティア



公園での企業研修

(写真提供：株式会社フォレストアドベンチャー)



園内でのネイチャー写真教室

(出典：鹿児島市公園公社 HP)

2ページの1. うみなかビジョン2030に関連するテーマ(案)の他、2. 本公園共有の課題に関する内容についても、テーマ(案)として設定。閑散期の利用促進によって、公園全体として魅力向上や各機関の収益向上等にも寄与すると考えられる。

(※1と2は関連性があるため、2を解決する手段として1を議論する等も想定される。)

## 【2. 本公園共通の課題に関するテーマ(案)】

テーマ(案)	内容
⑧平日の利用促進	• 平日の利用者増、魅力増進のための取組の方向性、アイデアなど
⑨冬季の利用促進	• 冬季の利用者増、魅力増進のための取組の方向性、アイデアなど
⑩雨天時(屋内型施設以外)の利用促進	• 雨天時の利用者増、魅力増進のための取組の方向性、アイデアなど

○ 季節や天候による利用への影響が大きく、冬場や雨天時の利用を促進することも必要と考えています。

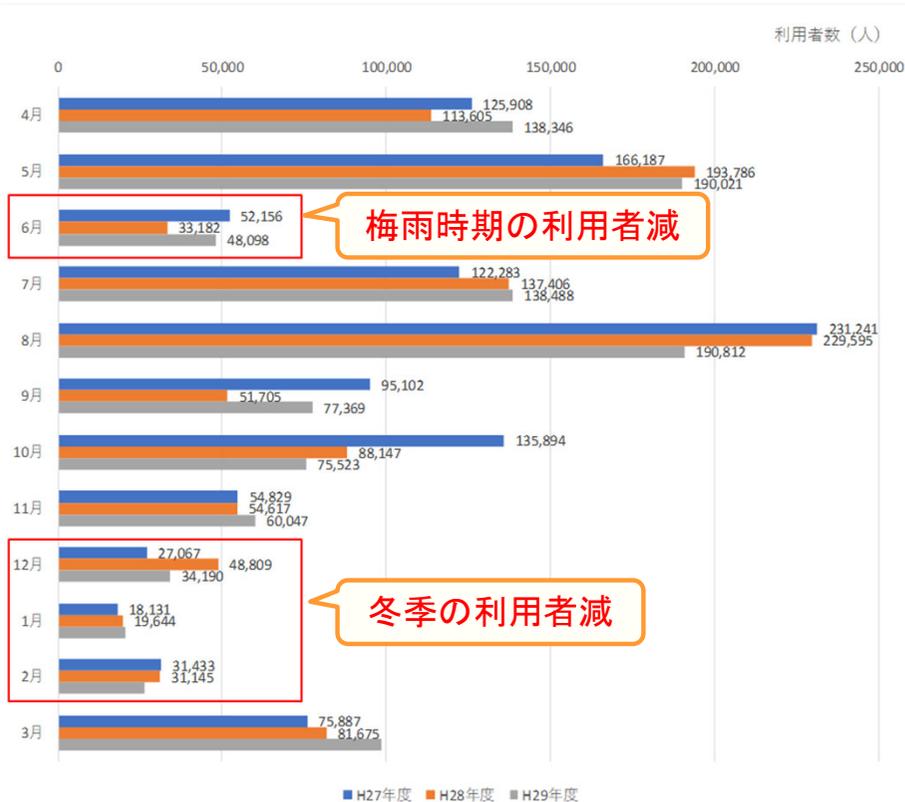


図 15 月別利用者数

<出典>海の中道海浜公園利用実態調査



図 16 平日・休日・多客日別の利用者数（1日あたり）

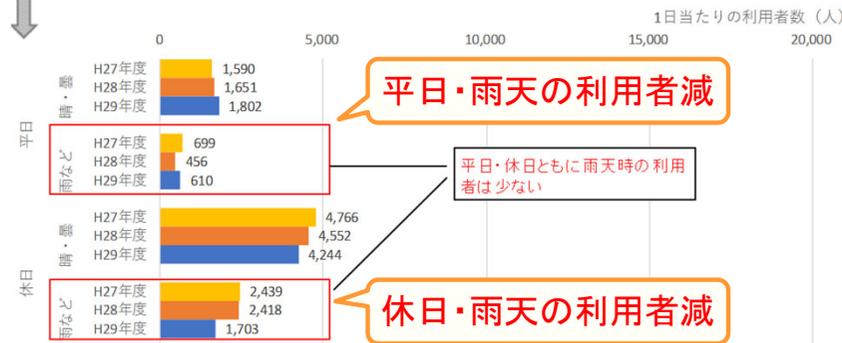


図 17 平日/休日の天候別利用者数（1日あたり）

<出典>海の中道海浜公園利用実態調査

【補足事項】  
※多客日  
1万人以上の利用者があった日を多客日とした。

※天候区分  
天候記録で“雨”“曇のち雨”“曇時々雨”など、雨の記載がある日を「雨など」と設定した。ただし、“晴れ一時雨”などの『一時雨』は、利用者が多い日もあるため、突発的・短時間的な雨の可能性が高く、『一時雨』は「晴れくもり」に分類した。

(上記グラフはパークエリア利用者)

【左側：月別利用者数、右側：平日/休日及び天候別の利用者数の状況】

<出典>海の中道海浜公園官民連携による魅力向上推進方針資料編(2019.3月、国土交通省九州地方整備局)